



このトヤ コラム 教えて！エリ先生

この時期の発達過程

ハイハイ～つかまり立ち～伝い歩きと発達をしてきた赤ちゃんが、だんだんと何かにつかまらなくても一人で立ち上がったり、立っていられる時間も長くなっています。ついには一人で1歩、2歩、3歩と体重移動をしながら進む事が出来るようになっていきます。歩き始めの時期は両手でバランスを取りながら歩きます。

とは言え歩き出すのも個人差が大きく、早い子では1ヶ月頃から歩くお子さんもいれば、1歳を過ぎてもなかなか歩かないお子さんもいます。その子のペースで歩けるようになりますので、見守ってあげましょう。子どもが動きたいように自由に動くことを保障してあげることが重要です。自由に動けるスペースがあるかどうか、環境を見直してみるのも良いでしょう。

芝生や砂の上など、安全を確認した上で、裸足になって歩くという経験をさせてあげるのもおすすめです。

靴デビューをし、お外でも何歩も歩けるようになってきたら、歩きやすいお散歩コースを探し、色々なところをたくさん歩かせてあげましょう。

歩けるようになると見える世界が一気に広がり、子どもの好奇心はますます活発になっていきます。探索活動がこれまで以上に活発になるので、安全面などを配慮しながら、お子さんの好奇心や探求心を見守りながら育ててあげられたら良いですね。

二足歩行ができるようになってきたら、手が自由になるので指先を使った遊びもますます上手になります。

積み木も2～3個積めたり、小さな物や細いものをつまむ事も出来るようになってきます。小さな穴を開けた容器の中に、ストローを入れて落とすストロー落としの遊びや、爪楊枝を小さな穴に入れる爪楊枝落としなどの遊びも喜んでやってくれるようになります。このような遊びは、目と手の動きを連動させる動き(目と手の協応)の発達にも貢献しますので、お子さんの興味に合わせながら色々やらせてあげましょう。

殆どのお子さんはお昼寝も昼食後の1回に落ちてきます。歩けるようになると活動量も増えるので、朝は早く起きて、お昼寝を1回。夜は早く寝かせる、というように生活リズムを整えていけると良いですね。

離乳食も完了期に突入。手掴み食べを中心に、スプーンにも興味を示すお子さんもいらっしゃるかもしれません。スプーンに一回の量を少しあげると、それを上手に自分の口に運べるようになります。

この時期のお悩み

食事の途中で食べ物やスプーンを床に落としてみたり、コップをひっくり返してびちゃびちゃ遊んでみたり、お芋をグチャグチャつぶしたりなど「遊び食べ」というお悩みが出てくるのもこの時期かもしれません。

大人からみたら「いたずら」と思えてしまうような行動ですが、これらは子どもの好奇心からています。

「スプーンを手から離したらどうなるんだろう」「お芋を手でつぶしたらどんな感触なんだろう」子どもは実際に自分で様々な事を体験しながら色々な事を学んでいる最中です。食べ物や食器に興味が出てきたということなので、頭ごなしに叱らないようにしましょう。食事に集中出来るようにだらだらおやつをあげるのを避けて、食事の時間には空腹になるようにしておく。後片付けの負担を軽くするために、床にバスタオルや新聞紙などをひいておく。など、色々工夫してみましょう。また、「落とす」「つぶす」「握る」など、普段の遊びの中でそういった活動を取り入れ、食べ物で遊ぶ以外のことで満たしてあげるのも良いですね。例えば、スプーンや食器を落とすなどの行為が見られるお子さんにはポットン落としなどの「落とす」遊びを。食べ物をぐちゃぐちゃ潰したりにぎったりするお子さんには、小麦粉粘土や寒天遊びなどで「つぶす」や「握る」をさせてあげると喜ぶかもしれません。それでもだらだら遊び食べをするようなら、「遊びならもうおしまいね」と切り上げてしまいましょう。1歳のお子さんは10分食事に集中出来たら◎! 食事は毎日の事ですから、あまり神経質にならずに親も大らかな気持ちで構えていきましょう!

井上エリ

子どもの心の根っこを育むcocorone主催。
アドラー心理学とモンテッソーリ教育を活かした子育て講座をオンラインで開催中。また、自身の保育士経験も活かしながら保育士向けの研修も行っている。
アドラー勇気づけ講師、モンテッソーリ教師、8歳と1歳の女の子と男の子のママ。
インスタグラム、ブログも更新中。



STAGE5
(1歳～
1歳2ヶ月)



保育園がつくる
子育てサブスクリプション

パッケージ紹介

1 どんぐりころころ (こまむぐ社)

日本のブランド『こまむぐ』の大人気のおもちゃです。特にこの月齢の子どもが大好きな繰り返し遊びにこれが一番。坂道をカタコト♪カタコト♪・カわいいく回転しながら坂を下ります。どんぐりの底面にゴムがはめ込まれていることで、特徴的に揺れながら進むのです。身近にある絵本や段ボールなどを坂道の代わりにしてみるのも面白い発見ができるかもしれません。子どもから大人まで、その愛らしい動きに癒されること間違いなしです。

2 キーボックス (ニック社)

知育効果の高さが期待できる【型はめ遊び】は「合わせる形」が複雑さぎると集中しづらくなるものです。120年の歴史あるウォルター社からニック社が受け継いだデザインで、○△□と各色3個のシンプルな選択肢で構成されていることがポイント。1歳前後には「〇」を判別してその方向や角度を合わせて穴に入れようとする、という行為が十分に難しいことなのです。

成長と共に「カギ」を開け閉めできるようになっていきますが、この月齢ではカギは開けっ放しでかまいません。やりたいことは「扉を開ける」「全部出す」「扉を閉める」から始まって「形に合わせる」「落とす」…へと目的が変化していく遊びです。扉で『手を挟む』という言葉の意味も体験と共に理解していくのですが、本物だと大げさです。遊びの中でその意味を理解するチャンスが増えると良いですね。少しずつ出来るようになる喜びを、親子で共有する場面がたくさん生まれる玩具です。

3 カルーセロ (セレクタ社)

色鮮やかなドイツ・セレクタ社の仕掛け玩具。指先を操作する動きが様々に誘われます。「つまんで回す」という手首の動きも含めた動き。「つまんで移動させる」という協応動作。「つまむ」「もぐる」「はじく」ような指先の力加減。「回転の方向を理解する」という1才なりの論理的思考だって・・・。膝や床の上で遊ぶことも出来ますし、付属の面ファスナーでベビーカーやベビーベッドの柵に取り付けても使って便利です。

4 ミカドロール (セレクタ社)

外れそうで外れないカラフルな木の棒がなんとも不思議で、大人ものぞき込んで感心しちゃう構造です。この月齢では「立つ」「歩く」の個人差が気になってしまいがちですが、早ければいいというわけでもありませんよね。「歩く」まことにたっぷりと蓄積しておきたい「ハイハイ」「四つ這い」の姿勢を、例え歩くようになっていても誘い出すのがこの玩具。上手く転がすにはいろんなコツが掴める必要があるのですね。細い棒が斜めに柵上にあるその中に、ちらりと光る「鈴」の存在。「なるほど!これが音の正体なんだ」と、しゃべらないけど考えて見つめる姿がありますよ~。



5 クラウン (プリオ社)

スウェーデン・プリオ社の代表的なベストセラー。8個のウッドビーズを棒に通しながら積み上げる木製知育玩具です。両手を使って抜き取ることも、「穴」を理解することに繋がります。「通す」ことが1歳前後で出来初めるので「パチン」と挿せたときの満足な笑顔はたまりません。このスタッキングトイで遊ぶ中で、見て、さわって、手指の運動も促されます。積み重ね方次第でクラウンの表情が変わったように見え、子どもの想像力やバランス感覚も養われます。円盤状のビーズの直径が大きいほど「穴」に棒を通すのは難しく、「このくらい?」という勘が必要とされますが、裏側に添えた指先が自然と距離感も測っているものですね~。

6 ダンシングアリゲーター (プラントイ社)

なんとも愛嬌のあるワニさんのおもちゃ。引っ張ると、カタカタと音を立てながらワニさんがついてきます。歩き始めたばかりの子どもは、まだ「引っ張りながら歩く」なんて高度なことはすぐには出来ないものです。この月齢での引き車の役割は、たとえ既に歩けるようになっていたとしても、「ワニさんとハイハイ競争しようよ!」と、四つ這いの体験を増やしておくこと。転んだ時に咄嗟に手を付く確率が上がりますよ! プラントイ社は素材・環境にもこだわり、化学物質を使用せずゴムの木を素材としています。アクセントカラーには安全な水性塗料を使用しており、安心して遊んでいただけます。

絵本 おでかけばいばい

とりさんがリュックをショット、「おでかけおでかけピタコンピタコン」。おや、リュックから、子どものとりたちが顔を出しています。ページをめくると、リュックから子どもたちが3羽、こちらを向いて、にこにこ顔で、手をふっています。

「いってらっしゃーいばいばーい」。次々に、いろいろな動物がリュックに子どもたちを入れておでかけです。くりかえし「ばいばい」と手をふる楽しさがいっぱいの絵本です。

絵本 だるまさんが

柔らかそうな丸くて赤いかたまりが、伸びたり縮んだり、転んだり。目をつぶったり、開いたり、笑ったり。おまけに「ぶっ」とする。だるまんっていう名前なんて知らない小さな子でも惹きつけられてしまっているのが、その反応を見ているだけでわかります。呼びかけるような言葉のリズムも声に出してみれば独特な「間」をつくってくれており、大人が読んでも笑ってしまう絵本です。

うた わらべうた

YouTube このトイ chで紹介しております。
QRコードからご確認ください。

